

【学校・地域の実態】

- ・学年の研修や体験学習などそれぞれに活動の意図を理解した地域の協力が得られていることで、生徒も進んで体験活動に参加することができている。
- ・郡上市南部という地理的条件等により、生活圈や卒業後の進路先が他地域（関市や美濃市）となることもあり、その分“ふるさと”郡上という意識が薄くなる傾向を感じることもある。

【学校の教育目標】

磨く 正しく・強く・新しく

【「シン・郡上学」のねらいと郡上市教育委員会の重点】

「シン・郡上学（深・親・進）」を柱とした探究的な学習を通して、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる

- ・多様な他者との協働により「主体的参加（当事者意識）」「持続型・循環型」「地域貢献・地域学校協働活動」の視点で進化、親化、深化させる「シン・郡上学（深・親・進）」を柱として、SDGs（持続可能な社会）等の広い視野も踏まえながら、目標と育てようとする資質や能力を明確にした全体計画、指導計画の工夫改善を図る。
- ・地域の様々な教育資源（人・もの・行事・文化・施設・設備等）を活用し、地域の魅力に親しむための体験活動や地域企業から学ぶ体験活動、地域の未来を考え自分たちができることを実践する地域貢献活動を充実させた探究的な学習に取り組む。

「郡上学」の内容（総合的な学習の時間での取組）

	第1学年	第2学年	第3学年
テーマ	郷土 清流長良川と郡上の自然・文化	郷土 清流長良川と郡上の産業と人々	郷土 持続可能な清流長良川と 郡上の未来の創造
ふるさと文化の学習	◇清流森林学習体験（5～8月） ・鮎について学ぶ（講話7月、やな漁見学8月） ・下駄製作、郡上踊り体験をする。 ・沢登り、eバイク体験をする。 ◇郡上研修（9月） ・郡上市内を散策する。 ・ラフティングを体験する。	◇講話・見学・体験学習（5月） ・鶺鴒見学を行う。 ◇長良川研修（9月） ・長良川の最下流域の見学や学習を行う	◇魅力体験学習 ・郡上の魅力再発見ツアーを体験する。 ◇東京研修（10月） ・郡上（美並）の伝統文化を見つめ直す。
山と川の学習（清流学習）	◇郡上研修（9月） ・郡上の自然（阿弥陀ヶ滝、分水嶺等）に触れる。 ・ラフティングを体験する。 ・長良川河口堰の学習を行う。	◇長良川研修（9月） ・長良川の中流から下流にかけて、施設や自然環境を観察する。	◇東京研修（10月） ・都市の様子について見学し、故郷に活かしていけることを考える。
仕事の学習	◇2・3年生の発表会（11月） ・2年生、3年生の発表を聞く。 ◇講話・見学・森林体験学習（5月） ・植樹を行い、林業について学ぶ。	◇長良川研修（9月） ・民宿や漁協の方の話を聞き、仕事や生き方を学ぶ。 ◇働くことについて（12月） ・観光業、漁業、飲食業などから、各業種の抱える課題の話を聞き、課題意識を強める。 ・商品開発とマルシェの開催	◇東京研修（10月） ・企業を訪問し、仕事や生き方を学ぶ。
共に生きる学習	◇郡上（美並）の未来を考える ・郡上（美並）の現状や課題について知る。【講話】（6月） ・校区の小学生に自分たちが学んだことを伝えながら共に自然体験活動を行う。 ・3年生の提言発表を聞き共に考える。（11月） ・郡上のために自分たちに何ができるか考え実践する。	◇長良川研修（9月） ・宿泊先の方と交流する。 ◇郡上（美並）の未来を考える ・3年生の提言発表を聞き、共に考える。（11月） ・郡上のために自分たちに何ができるか考え、大人の方と共に実践する。 ・校区の小学生に自分たちの活動を紹介するとともに、課題解決に向けて共に考える。	◇郡上（美並）の未来を考える ・強みを生かした提案のプレゼン。（11月） ・校区の小学生を対象に、考えたプランで小学生をアテンドしたり検証したりする。 ◇郡上市への提言 ・町づくりコンペ（7月） ・ふれあい懇談会（11月）